

謹賀新年

平成三十年戊戌



轉法輪

みまろあんだ
明暗他に
あろ非ざらば即ち
しんじゅ信修すれば
なま忽ちに証す
弘法大師

平成三十年元旦発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七一〇〇七一
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七二二三四〇三
FAX〇七四七一三五一四七二七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

皆さまには、健やかに新春を迎えられたことと存じます。「笑う門には福来る」といいます。笑って暮らすも一生、泣いて暮らすも一生。人生山あり谷あり、どんな時も笑顔を作る心がけが幸せを呼ぶのでしょね。

初詣にお参り下さい

十二月三十一日(日)

除夜の鐘

年越し護摩供

一月一日(月)・二日(火)

甘酒接待

破魔矢授与・今年の一字

一月三日(水)九時半より

新春護摩法会

御鏡開き・ぜんざい接待

新春ほほえみコンサート

犬飼山轉法輪寺

住職 桑山慈紹

お大師さまのお言葉 幸、不幸は他人が決めるものではなく、自分が光を感じるための眼を開いているかどうか。教えを信じて心に据えたとき、すぐ眼が開き明るい世界にいたことに気づく。

如法にょほうに修法せよ

大師の

教えの如く

住職 桑山慈紹



新年あけましておめでとうございませす。本年も宜しくお願い申しあげます。高野山で修行していた若僧の頃、伝授と言って拝み方の教育がありました。伝授阿闍梨様あじやり(先生)は、大師が

命がけで伝えられた法(教え)を一心に教えて下さいました。そして、どの阿闍梨様も「如法に修行しなさい」と言われました。如法とは、大師が伝えられた行法作法をそのまま有難く頂きなさいという意味であります。

四度加行しどけぎまうといって、僧侶として必ず通らねばならぬ行があります。一学生として生活していた私には、早起きすることさえ大変でした。先輩に注意されながらやっと早起き出来るようになりました。また拝み方は複雑かつ時間を要するものです。百八礼拝一日三回とか、御真言を唱えること千返を繰り返すこと等、今は懐かしく思います。何故に伝授阿闍梨様は如法に修行せよとおっしゃったのか、私も次第に年を重ね、人様に伝授しなければならぬ年になりました。そしてようやくその意味が分かってきたように思います。

人々の生老病死にまつわる悩み苦しみは絶えることはありません。それを聞いて、願いを背に負いながらの日々です。私は毎日不動尊護摩供を奉修させて頂いています。もう八千座はゆうに越えました。その中で、お大師さまがお伝えになられた教えを、そのまま有難く拝受し、教えのままに修行すれば必ず道が開くこと、迷いの雲が晴れて仏様の光明を頂くことが出来ること、信することが出来ました。

檀信徒の皆様には、仏前勤行次第がございませす。三帰、三竟、十善戒、発菩提心、三摩耶戒、般若心経、本尊真言、十三仏真言、光明真言、大師宝号、祈願文、回向です。この次第こそ即身成仏、生きながらにして仏となる成仏法なのです。そして、拝み合い助け合いの仏様の世界をこの世に作っていきましょう。合掌

輪 法 轉 (3)

平成三十年度 戊戌年 つちのえね

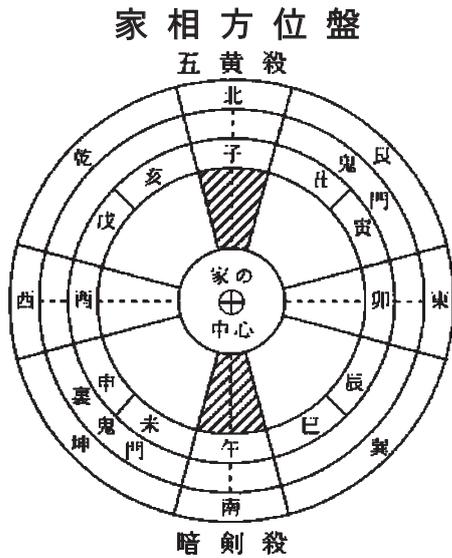
方位の吉凶

住職 桑山慈紹

新年あけまして

おめでとうございます。

平成三十年度は戊戌(つちのえいぬ)、九紫火星の年となっています。よって北(子・三十度)に五黄殺、南(午・三十度)に暗剣殺、さらに辰(東南東)に歳破神が巡っており、この三方はどなたさまも大凶となります。



今年はこちらの方位に、新築・増改築・土木工事・開店・結婚・出産・長期旅行・就職・進学・転宅・契約などをされる場合は凶作用を受けやすくなりますのでご注意ください。殊に四緑木星・五黄土星・九紫火星の方は気を付けて下さい。

暗剣殺とは何か?

暗剣殺は、暗闇から剣が飛び出してきて傷つけられるというような、思いもよらぬ災難が外から急に降りかかってくる方崇りのことを言います。よって非常に避けにくいものでもありません。火災・争い・離別・心臓病・眼病・脳病等が暗示されます。

五黄殺とは何か?

五黄殺は、強烈な土に戻す作用をもつ方崇りです。土に戻すのですから、あらゆるものが腐る、崩れるという動きで、五黄殺の崇りで命や財産を失うこともあります。暗剣殺とは対照的に、ジリジリと影響を及ぼすのが特徴で、三年ごとに働き向こう五十年間崇ると

恐れられます。下の病氣・冷え性・盗難・詐欺・色情のもつれ等が暗示されます。

本年の恵方(あきの方位)

本年の歳徳神は丙(ひのえ、巳と午の間)南南東で、恵方(よい方位)です。新年を恵方位の神仏に祈るのも有難いことです。南方におられるのは、宝生如来です。

御真言には

おんあらたんのう さんばん

ばたらく とお唱えし、

南無大師遍照金剛

南無大明神

と唱えて、恵方の徳をいただきますよう。

方位のお尋ねについて

新年を迎えて色々と計画されていることと存じます。

建築・リフォームなどで不明な点がありましたら、当山までお越しください。その際には、家の平面図をグラフ用紙に正確に書き、磁石を数回ふった南北線を記入した図面と、ご家族の生年月日を添えてお尋ねください。

家相・方位の相談をお受けいたします。新築・リフォーム・転宅の際はご相談ください。

生かせいのち

【第五十六話】

名誉住職 桑山聖規



戊年の新年を迎えまして信者御一統様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

当寺の山号は「犬飼山」です。弘仁七年、宗祖弘法大師が犬飼明神（別称、狩場明神・高野明神）と当地で御邂逅になり、その深き御縁により犬飼山遍照院轉法輪寺が建立されました。今より千二百年前の事です。この長い年月、

犬飼明神と弘法大師のご加護あって、信者の参拝が絶え間なく続き、檀家の無い犬飼山を守り続けて下さいました。

人世は誰でも希望や悩みがあり、解決の道を求めています。大師は広い愛情を持って聞き入れ、善処し御救い下さっています。大師の誓願「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば我が願いも尽きる」未来永劫に衆生を救おうとの大愛を拝して涙が流れます。全ての衆生を平等に愛し、一人漏らさず助けたいという御誓願を心より信じておすがりしましょう。大日如来と一体となられた大師は、大神通力を以ていつでもどこまでも行って助けて下さるのです。大師信者は世界で一千万人と言われています。この一千万の信者が現世において救われると共に、皆がお互いに拝み合い助け合って、密厳国土（この世界の極楽浄土）を築いていきましょう。さて、今年の干支、犬の話をさせて頂きます。犬は正直で、勇気と忠誠心が強いことから昔より親しまれてきま

た。殊に真言宗においては、大師を高野山へ導いた明神様のお使いが犬であり、特別な存在とされます。毎月十六日は明神様の祭日に定められ、法印職の高僧が御輿に乗り檀上伽藍明神社（山王院）に行き修法されます。

当山では明神様お使いの黒白二犬を像に刻み、御神前に安置させて頂いています。魔神を退散させ、幸運を招来する神犬の功德は甚大で、犬の足元には毎日お賽銭が供えられています。当山が犬飼明神の本社であることを鑑み、宗団の寺院や信者を守護し導いてくださるよう至心にお祀りを続けていきます。皆さまも戊年にあやかり、靈驗を頂き健康で益々開運されますように。

一月一日より三日間は初詣として、明神様の破魔矢やお守りなどを揃えています。年越しの際は除夜の鐘と護摩供、三日には御鏡開きで開運護摩供を奉修いたします。三日間甘酒やぜんざいの接待を致します。皆様のご参拝お待ちしています。

合掌

受明灌頂無魔成満

お礼ご挨拶

昨年十月三十一日・十一月一日、高野山真言宗管長中西啓實猊下をお迎えし、内吉野支所主催の十年に一度という受明灌頂が、轉法輪寺を会所として受者百四十余名を迎え、無魔成満致しました。当日は秋晴の好天にも恵まれ、支所下住職、寺族婦人会総出仕のもと、厳肅かつ荘嚴、有難く執行されました。灌頂を受けられた方の体験談を掲載させていただきます。

○平成二十九年十一月一日犬飼山轉法輪寺におきまして、私達夫婦で受明灌頂入壇修行の機会を頂いた事を深く感謝いたします。真言密教を学び仏様の縁を結ぶという経験は誠に心が洗われる思いでした。また戒名を授かったことも心より喜んでいきます。

○受明灌頂を受けることにより、新たに仏さまとの縁が深まり、印と真言を伝授いただき、引き締まる思いでした。受けるに当たってどんな事をするのか、少し不安もありました。入堂して始めは目隠しをしているので、不思議な気持ちでした。仏様の御慈悲を頂いて煩惱を洗い流し、これからも日々精進していかなければと思いました。

○ロウソクの灯、線香の薫。あの静かな日の体験は全身で深く感動、感銘、感謝を覚えました。ご住職様より頂いた大日如来の悟りの姿は以前よりも美しく、優しい心で豊かな姿に思えました。力を頂戴した喜びが湧き出ます。仏さまに朝夕合掌しお供えする時、ご先祖さまの笑顔が見え、この歳まで命を伸ばして頂いたことの有難さを実感しました。これからも前を向いて前進していく力を頂きました。

この受明灌頂執行にあたり、物心両面にわたり多大なご協力ご支援頂きましたこと心より厚く御礼申し上げます。合掌

轉法輪寺まで

かぎろひ歴史探訪

田中龍夫

十二月七日の私どもの歴史探訪は五條二見駅に集合した約五十人が旧道を生蓮寺さん、烏ヶ森堂を経て轉法輪寺さんに到着。その後は、黒駒の古墳、御霊神社、落杉神社から井上皇后の御陵、他戸親王のお墓、最後は五條の御霊神社本宮というコースを辿りました。

ところで、最初のポイント轉法輪寺さんは、旧道から信号の無い国道二四号線を横断しなければならず少し心配がありました。ところが、地元の方が交通整理に出て下さり、全員無事に山門をくぐる事ができました。「有り難い」と掌をあわせたものです。

大教堂を解放いただいた轉法輪寺さんでは桑山住職さんの法話、続いて般若心経。その誦経になぜか心の高揚を

お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良名を選ばせて頂いております。



覚えしました。その後私の拙い歴史話が入り、参加者は弁当を広げました。その折りお出し下さったお茶の温かみと食後の柿の甘みは嬉しい思い出となりました。

「せめてお寺の境内に居る間だけで

も佛様を「見る」とは言わず、「拝む」という言葉を使つてほしい」とは、言つていたのですが、この日は、さらに教えられることがありました。歴史探訪は訪れた土地の歴史を知り、里風景を愛でるだけではない。その土地の人々の温かい人情に触れ、参拝する寺々で自ら掌を合せる佛縁に浴することを識らねば、と気付かされたのです。京都の東寺、弘法さんで遊び育つた私になにか縁があつたのかもしれない。頂いたお心感謝するばかりです。

寄稿文

小松裕衣

ただ今、八才・六才・二才のやんちや盛りの男の子三人の子育て中です。毎日、家事に育児に仕事に…と目が回るような忙しさ。時には家事が思うように進まなかつたり、手抜きしてしまふことに後ろめたさを感じたり…。



そんな時、六才になる次男に尋ねてみたのです。

「ねえ、〇〇ちゃんは思い通りにいかないことってある？」するとあっさり「そりや当たり前だよ。思い通りにいかないことの方が多い。人生そんなもんだよ。」という答えが返ってきたのです。まだ六才の我が子に人生を論され、驚き思わず大笑いしてしまいました。

毎月三回不定期で「タイコの会」を開いています。お経を唱えながらタイコを叩いてみませんか？

輪 法 轉 (7)

『思い通りにいかないのが人生』
良いことも悪いことも、失敗も、突
然のアクシデントも、にこやかに受け
入れられる大らかな心を持って、家族
笑って新しい年を迎えられたらと思っ
ます。

平成二十九年

「心ひかれる仏教の話」

西山 厚先生 仏教講座

去る六月三日・十二月十日開講

今年度は一回目が東大寺の大仏さま、二回目を観音菩薩をテーマとして、お話して頂きました。今年の西山先生の話に通念したのは、華嚴経における命の輝きです。私たち一人ひとり、動物、植物、あらゆるモノが世界を飾っている。特別に素晴らしいこと、役に立つことをせずとも、存在自体が光を放って世界を美しく彩っているという



考えです。私たちはときたま、自分に自信がなくなることがあります。誰からも認められず衰えられず、役立たずのように思えて心が潰されそうになります。華嚴は、それでも光っているんだよと教えてくれているのでしよう。当山の檀信徒以外の方の参加も増えて、ますます充実した内容となってきました。遠くは関東からお越しになる受講者もおられ、この奈良の田舎まで足を運んで頂けるだけの内容なのだと思改めて感じられます。

年末托鉢

浄財を社会福祉のために

轉法輪寺詠歌講並びに有志十二名による、毎年恒例の寒行托鉢が十二月十三日に行われました。五條市犬飼町を中心に、ご詠歌と般若心経を唱え各家庭の家内安全如意円満を祈念し、無事に成満しました。当日喜捨された浄財五万五千元は、当日五條市社会福祉センターに届けられました。ご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。



ご詠歌をお唱えしたい方を募集しています。犬飼詠歌講では少人数で
気遣いなくご詠歌を覚えられます。各地の巡拝でもお唱えできます。

本堂大壇修復に

感謝合掌

住職 桑山慈紹

当山本堂に安置され、日々修法や檀信徒の加持祈祷の中心である大壇が、幾星霜を経て傷み激しく、平成二十九年四月より修復することになりました。大壇の前にある礼盤(座る台)の裏面に、次のように墨書されています。

天保四年癸巳年 三月二十一日
相求之

一千年遠忌 大曼荼羅供 執行
之時

法印 立辯 七十四歳

天保四年は、今年より百八六年前に当たります。弘法大師御入定一千年遠忌を迎えるにあたり、大曼荼羅供の大

法会を執行されました。その時にこの大壇を求められたようです。当山の中興開基伝燈大阿闍梨、法印立辯師は、御年七十四才でありました。

立辯師は当山過去帳に次のように記されています。

紀伊の国伊都郡丁之町村の産れで千乗房と号す。立憲法印の弟子である。文政四巳年五月土呂川龍泉寺より転住された。文政十二年、当山の一字再建。天保十四年十二月寂。

このたび大壇修復が終わり、受明灌頂で初めて使わせて頂きました。今は本堂に安置し、日々修法させて頂いています。当山開創千二百年前の道和尚師から記載されている、歴代先師尊霊の過去帳を拝見しながら思うのです。この寺が歴代先師の並々ならぬ御精進、御努力があつてこそ、そして支え

て下さった数多くの檀信徒の方々のお力添えがあつてこそ、今の轉法輪寺があるのだということ。当山護持発展のため、この大壇を精一杯活用させて頂くこと、修行に励むことこそ、その恩に報いることと存じます。ありがとうございます。



お世話人さま募集！檀家さんに限らず、信心を持って行事のお手伝いしてもらえる方であれば大歓迎！お大師さまの教えの輪を広げましょう。

(9) 輪 法 轉

新春の行事

初大師

一月二十一日(日)

十時より

大般若経六百巻転読法要

—七難即滅—

七福即生—



「大般若經典の智慧の風をお受けください」

初不動

一月二十八日(日)

九時より

十二座護摩供

—厄除開運—

善願成就の大祈禱—



「護摩の炎で災厄を浄めます」

稲荷祭

三月十日(土) 十時より



定期開講
焼き物教室

にぎりじぞうの他、今年の干支犬のかわいい焼き物等を作る催しを企画しています。
今年度、初回は一月二十一日(日)大般若法要の午後を予定しています。当日参加OK！気軽に越してください。
参加費五百円 定員十名前後

平成30年

春の四国遍路 ～伊予一国参り～

44番大宝寺から75番善通寺まで愛媛県の一国をお参りします。

平成30年3月29日(木)～4月1日(日) 3泊4日予定

お遍路さんになって四国を訪れてみませんか。日常を離れて、お参りだけを考える日々も良いものです。



当山の四国巡拝は春秋一国ずつお参りし、四回で結願です。出来るだけ宿坊で泊り、朝晩の勤行、食事作法や施餓鬼供養をお勤めします。

1月3日(水)
新春コンサート

《ギター》
篤 西出篤史

ピアノ：西出美歩



篤(あつ)…2012年から奈良を中心に活動を開始。アコースティックギターでタッピング奏法、スラップ奏法、オープンチューニングなどを取り入れ、様々なジャンルを織り交ぜた独特な世界観あふれる音楽は年齢問わず支持を受けている。現在、ライブハウス、野外イベント等に出演し音楽活動を続けている。

揮毫 島岡芳山(五條市)

福詣

十二月三十一日(日)夜十二時より

除夜の鐘・百八灯明の点火

般若理趣三昧

初護摩供

一月二日(月)二日(火)

開運破魔矢

狩場明神御真影の授与

甘酒接待



御鏡開き

一月三日(水)午前九時半より

法要

おたのしみ福引き(空くじなし)

篤志者の御奉納により、千名の方に

おたのしみ福引きがあります。

ぜんざい・鏡餅接待

戌(いぬ)年男・年女

の方大集合!

身代りお守り授与

白衣・袈裟・腕念珠をつけて九時ま

でにお集まり下さい。奉納され

た鏡餅を切つていただきます。

星祭り結願祭

二月三日(土)十時より

厄除けのお札を

お渡しします



星祭祈願受付中

一年間の厄除け開運のために
ご祈禱をお申し込み下さい。